

## 研究職員(テニュア型任期付)公募一覧表(令和9年4月)

| 公募番号 | 試験研究機関名 | 配属研究領域   | 待遇                                    | 任期               | 研究課題名                             | 研究内容  | 応募条件  |
|------|---------|----------|---------------------------------------|------------------|-----------------------------------|---|---|
| A1   | 森林総合研究所 | 林業工学研究領域 | 研究職員<br>国立研究開発法人森林研究・整備機構職員給与規程に基づき決定 | テニュア型任期付<br>(3年) | 現場作業データを活用し生態系に配慮した新たな伐出作業システムの開発 | 山間地域におけるAI等を活用した安全で効率的な木材生産技術を開発するため、伐採現場における作業データを収集・解析することにより、作業方法や収益性等を検討し、生態系に配慮した新たな伐出作業システムを開発する。 | ①採用時に修士の学位以上を有する者<br>②木材生産技術の研究実績を有する者。架線系技術に知見を有する者が望ましい。<br>③勤務地:本所(茨城県つくば市)<br>④採用された場合、全国規模の転勤が可能な者   |
| A2   | 森林総合研究所 | 森林防災研究領域 | 研究職員<br>国立研究開発法人森林研究・整備機構職員給与規程に基づき決定 | テニュア型任期付<br>(3年) | 気候変動下における海岸防災林の適切な管理手法の開発         | 気候変動に伴って海面上昇や台風の大規模化が進むなか、効果低下や衰退に直面している海岸防災林の機能を評価し、その変動を踏まえた管理手法を開発する。                                | ① 採用時に修士の学位以上を有する者<br>② 海岸防災林の管理に関する研究に意欲を持って取り組むことのできる者<br>③ 勤務地:森林総合研究所(つくば市)<br>④ 採用された場合、全国規模の転勤が可能な者<br>⑤ 日本語での円滑なコミュニケーションが取れる者             |
| A3   | 森林総合研究所 | 構造利用研究領域 | 研究職員<br>国立研究開発法人森林研究・整備機構職員給与規程に基づき決定 | テニュア型任期付<br>(3年) | 力学的性能評価に基づく木質材料の木造建築物への利用技術開発     | 非住宅・中大規模建築物等への使用が想定される木質材料の力学的性能を評価し、それに基づいた木造建築物への利用技術の開発を行う。  | ① 採用時に修士の学位以上を有する者。<br>② 非住宅・中大規模建築物等への使用が想定される木質材料の強度性能評価に関する研究実績を有する者。<br>③ 勤務地:本所(つくば市)<br>④ 採用された場合、全国規模の転勤が可能な者。<br>⑤ 日本語で円滑なコミュニケーションが取れる者。 |

## 研究職員(テニュア型任期付)公募一覧表(令和9年4月)

| 公募番号 | 試験研究機関名 | 配属研究領域      | 待遇                                    | 任期               | 研究課題名                              | 研究内容   | 応募条件  |
|------|---------|-------------|---------------------------------------|------------------|------------------------------------|--|---|
| A4   | 森林総合研究所 | 森林災害・被害研究拠点 | 研究職員<br>国立研究開発法人森林研究・整備機構職員給与規程に基づき決定 | テニュア型任期付<br>(3年) | 腐朽等の欠点をもつ樹木の倒木リスク評価に基づいた、森林管理手法の開発 | 倒木がもたらす、人身やインフラへの被害を防止するため、腐朽等の欠点をもつ樹木の力学的強度を評価できる手法を開発し、個体ごとにアプローチする新たな森林管理手法を開発する。   | ①採用時に修士の学位を有する者<br>②森林の気象害や防災機能に関連した研究実績を有し、かつ、樹木の生体力学に関する計測技術やモデル化の技術を有する者<br>③勤務地:本所(つくば市)<br>④全国規模の転勤が可能なる者<br>⑤日本語で円滑なコミュニケーションが取れる者  |
| A5   | 森林総合研究所 | 林木育種センター    | 研究職員<br>国立研究開発法人森林研究・整備機構職員給与規程に基づき決定 | テニュア型任期付<br>(3年) | ゲノム情報と表現型情報を活用した林木の品種開発技術の開発       | 林木育種センターが保存している豊富な育種素材(スギ精英樹3,670系統等)を活用し、ゲノム情報や成長性・材質・着花性・根系特性等の表現型情報を統合的に活用して高精度な系統評価技術や効率的な選抜技術を開発し、複数形質に優れた系統の効果的な開発技術に関する研究を行う。 | ①採用時に修士の学位以上を有する者<br>②ゲノム解析、統計解析、または表現型解析のいずれかの分野に関する研究実績又は解析技術を有する者。また、植物に関する分子生物学的手法、統計遺伝学的手法を用いた研究経験や、生理学的、生態学的又は育種学的研究の経験を有していればなお望ましい。<br>③勤務地:林木育種センター(茨城県日立市)<br>④採用された場合、全国規模の転勤が可能なる者<br>⑤日本語で円滑なコミュニケーションが取れる者(日本語能力試験N2以上) |